

米に関するマンスリーレポート

(平成25年5月10日公表)

【本資料の目的】

「米に関するマンスリーレポート」は、米に関する価格動向や需給動向に関するデータを集約・整理し、毎月定期的に公表することによって、需給動向を適切に反映した米取引に資することを目的としています。

【利用上の注意】

1. 「米に関するマンスリーレポート」は、今後、必要に応じて項目の追加・削除などの内容を変更することがあり得ます。
2. 本レポートは、原則として公表2営業日前までの公表資料を反映しています。
3. 本資料に関する問い合わせ先

生産局農産部農産企画課 担当者：岩井、村松、川口 代表：03-3502-8111（内線4975） ダイヤルイン：03-6738-8973 FAX：03-6738-8976

目 次

I	米取引関係者の判断（米穀機構による調査、平成25年4月）	1
II	集出荷・卸段階の動向	
	（1）相対取引価格・数量	6
	① 相対取引価格（主な産地銘柄別、平成25年3月）	
	② 相対取引価格の推移（主な産地銘柄別、平成24年産米）	
	③ 相対取引価格（年産別）	
	④ 相対取引数量（累積数量、主な産地銘柄別、平成25年3月）	
	（2）民間在庫の推移	9
	① 出荷段階	
	② 販売段階	
	（3）米の先物取引価格の推移	11
	（4）業者間取引の状況	12
	① 日本コメ市場（随時取引の結果）	
	② 日本コメ市場・クリスタルライス（取引会の結果）	
	（5）(株)加工用米取引センターの取引結果	13
III	小売・消費段階の動向	
	（1）消費者物価指数の推移	14
	（2）小売物価統計の推移	15
	（3）小売価格の推移（POSデータ）	16
	（4）購入数量の推移（家計調査）	17
	（5）米の消費動向（米穀機構による調査）	18
IV	生産段階の動向	
	（1）国産米（水稻）の作況・収穫量	22
	（2）平成24年産水陸稲の収穫量	22
	（3）水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況、収穫量及び10a当たり収量	24
	（4）加工用米及び新規需要米の取組状況	25
	① 加工用米の生産量	
	② 新規需要米の用途別認定状況	
	（5）水稻うるち玄米の検査結果	26
	① 検査数量及び等級比率（年産別）	
	② 水稻うるち玄米の1等比率の推移	
V	民間流通における6月末在庫の推移	27
VI	備蓄米及びMA米の動向	
	（1）国内産備蓄米の売買数量及び在庫数量	28
	① 25年産国内産備蓄米の政府買入入札の結果	
	② 24年産国内産備蓄米の政府買入入札の結果	
	③ 国内産備蓄米の売渡数量	
	④ 政府備蓄米の在庫の状況（平成24年6月末現在）	
	⑤ 23年産米の特別隔離対策等による米の供給減少分の代替供給量	
	（2）MA米（一般・SBS）の動向	31
	① MA米の輸入数量（輸入先国別及び輸入方式別）	
	② 一般輸入米（加工原材料用）の販売状況（平成24年度）	
	③ SBS米の販売状況（平成24年度）	

I 米取引関係者の判断(米穀機構による調査、平成25年4月)

○ 米取引関係者に対して、需給動向や価格水準などの取引動向に関するアンケートを実施し、その結果をDIとして算出したものである(詳細はP5)を参照。

1. 国内の主食用米の需給及び価格動向に関する判断(全体)

①主食用米の需給動向

(ア) 現状判断DI

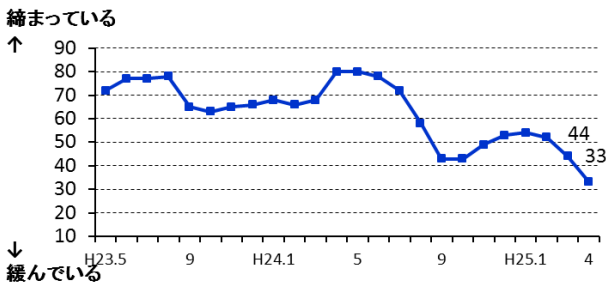
前月からの増減 -11 (今月の数値 33)

(イ) 見通し判断DI(向こう3ヶ月)

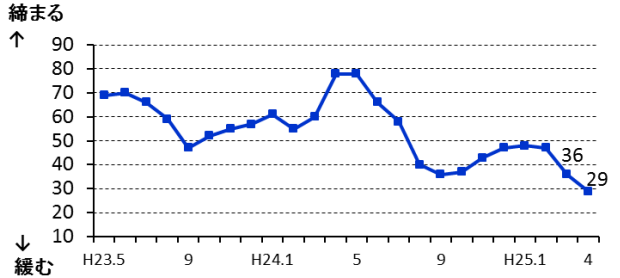
前月からの増減 -7 (今月の数値 29)

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「締まっている」/「(将来)締まる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「緩んでいる」/「(将来)緩む」という見方が前月より強くなった傾向を示す。

①-ア 国内の主食用米の”現在の需給動向”について、どう考えていますか。(全体)



①-イ 国内の主食用米の”向こう3ヶ月の需給動向”について、どうなると考えていますか。(全体)



②主食用米の米価水準

(ア) 現状判断DI

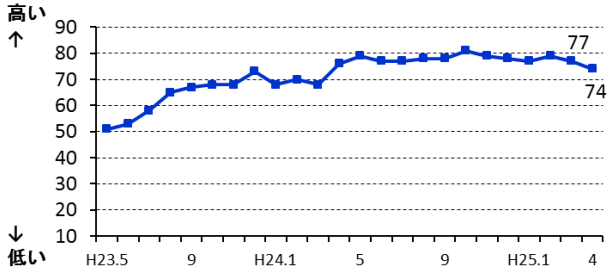
前月からの増減 -3 (今月の数値 74)

(イ) 見通し判断DI(向こう3ヶ月)

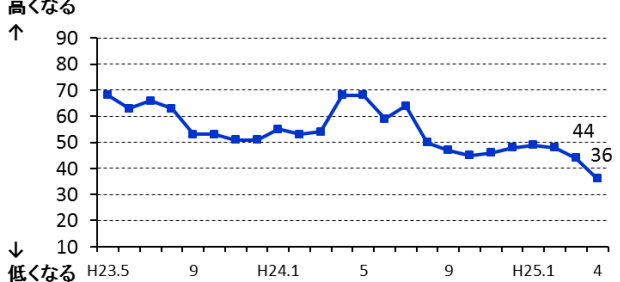
前月からの増減 -8 (今月の数値 36)

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、米価水準が高い/米価水準が高くなるという見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、米価水準が低い/米価水準が低くなるという見方が前月より強くなった傾向を示す。

②-ア 国内の主食用米の”現在の米価水準”について、どう考えていますか。(全体)



②-イ 国内の主食用米の”向こう3ヶ月の米価水準”について、”現時点と比較”してどうなると考えていますか。(全体)



③ 取引関係者が①及び②の判断を行うに当たり、主に考慮した要因

	作柄	国内の在庫水準	国の政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他
H24.5	2%	13%	4%	66%	8%	4%	2%
H24.6	1%	15%	3%	61%	9%	6%	6%
H24.7	4%	22%	1%	62%	3%	3%	5%
H24.8	20%	10%	2%	46%	12%	3%	6%
H24.9	30%	4%	0%	44%	11%	4%	6%
H24.10	20%	10%	3%	40%	19%	6%	2%

	作柄	国内の在庫水準	国の政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他
H24.11	11%	11%	3%	49%	16%	7%	3%
H24.12	9%	11%	2%	51%	17%	5%	5%
H25.1	6%	12%	5%	50%	19%	6%	3%
H25.2	2%	18%	5%	55%	10%	7%	4%
H25.3	1%	20%	6%	47%	16%	6%	4%
H25.4	2%	20%	3%	46%	18%	7%	4%

2. 自社の取引状況に関する判断(業態毎)

①主食用米の販売数量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「増えた」/「(将来)増える」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「減った」/「(将来)減る」という見方が前月より強くなった傾向を示す。

(ア) 今月の販売数量に関する現状判断 D I

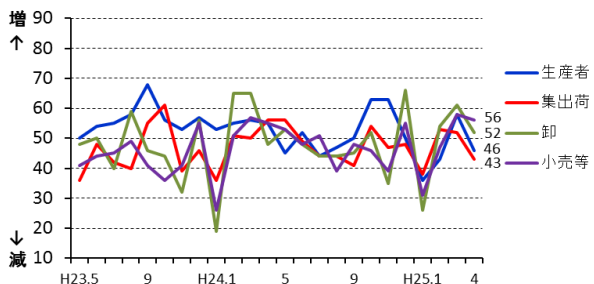
a. 先月との比較

生産者：前月からの増減	-12	(今月の数値	46)
集出荷：前月からの増減	-9	(今月の数値	43)
卸：前月からの増減	-9	(今月の数値	52)
小売等：前月からの増減	-2	(今月の数値	56)

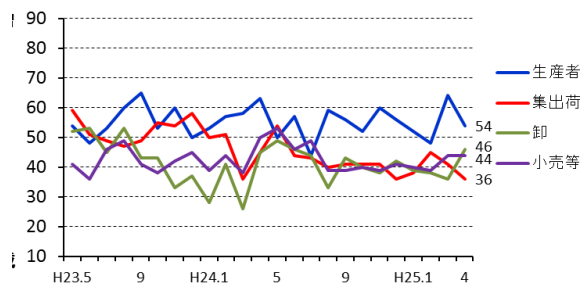
b. 前年同月との比較

生産者：前月からの増減	-10	(今月の数値	54)
集出荷：前月からの増減	-5	(今月の数値	36)
卸：前月からの増減	+10	(今月の数値	46)
小売等：前月からの増減	±0	(今月の数値	44)

①-ア-a 貴社の“今月”の主食用米の“販売数量”について、“先月と比較”するといかがですか。



①-ア-b 貴社の“今月”の主食用米の“販売数量”について、“前年同月と比較”するといかがですか。



(イ) 来月の販売数量に関する見通し D I

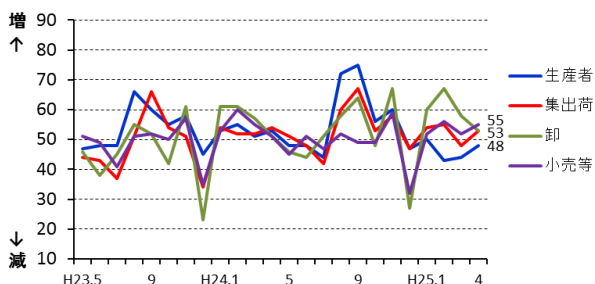
a. 今月との比較

生産者：前月からの増減	+4	(今月の数値	48)
集出荷：前月からの増減	+5	(今月の数値	53)
卸：前月からの増減	-5	(今月の数値	53)
小売等：前月からの増減	+3	(今月の数値	55)

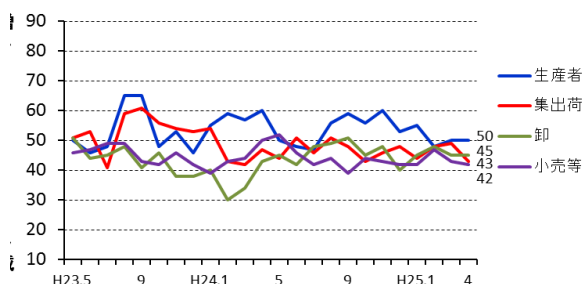
b. 前年同月との比較

生産者：前月からの増減	±0	(今月の数値	50)
集出荷：前月からの増減	-6	(今月の数値	43)
卸：前月からの増減	±0	(今月の数値	45)
小売等：前月からの増減	-1	(今月の数値	42)

①-イ-a 貴社の“来月”の主食用米の“販売数量”について、“今月と比較”してどうなると考えていますか。



①-イ-b 貴社の“来月”の主食用米の“販売数量”について、“前年同月と比較”してどうなると考えていますか。



②主食用米の価格

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「高くなった」/「(将来)高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「低くなった」/「(将来)低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示す。

(ア) 今月の価格に関する現状判断 D I

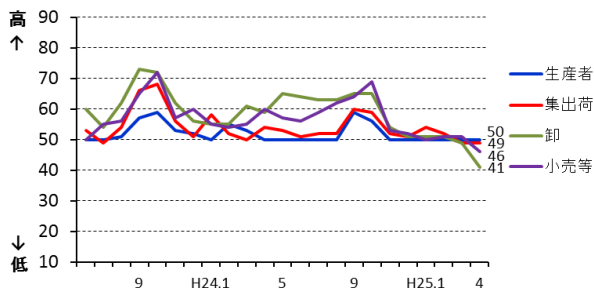
a. 先月との比較

生産者：前月からの増減	± 0	(今月の数値	50)
集出荷：前月からの増減	± 0	(今月の数値	49)
卸：前月からの増減	- 8	(今月の数値	41)
小売等：前月からの増減	- 5	(今月の数値	46)

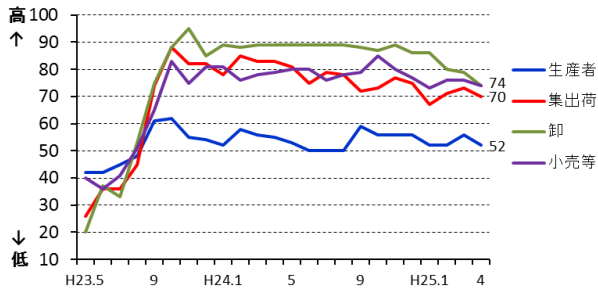
b. 前年同月との比較

生産者：前月からの増減	- 4	(今月の数値	52)
集出荷：前月からの増減	- 3	(今月の数値	70)
卸：前月からの増減	- 5	(今月の数値	74)
小売等：前月からの増減	- 2	(今月の数値	74)

②-ア-a 貴社の“今月”の主食用米の“価格”について、“先月と比較”するといかがですか。



②-ア-b 貴社の“今月”の主食用米の“価格”について、“前年同月と比較”するといかがですか。



(イ) 来月の価格に関する見通し D I

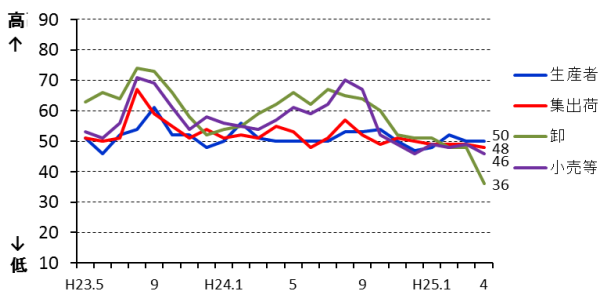
a. 今月との比較

生産者：前月からの増減	± 0	(今月の数値	50)
集出荷：前月からの増減	- 1	(今月の数値	48)
卸：前月からの増減	- 1 2	(今月の数値	36)
小売等：前月からの増減	- 3	(今月の数値	46)

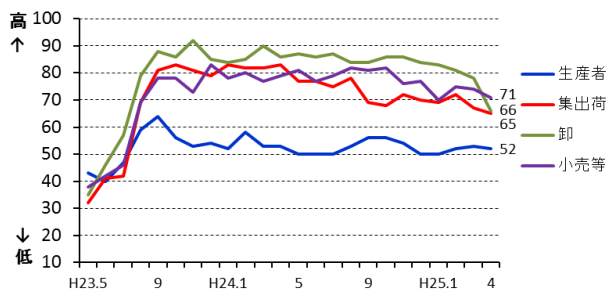
b. 前年同月との比較

生産者：前月からの増減	- 1	(今月の数値	52)
集出荷：前月からの増減	- 2	(今月の数値	65)
卸：前月からの増減	- 1 2	(今月の数値	66)
小売等：前月からの増減	- 3	(今月の数値	71)

②-イ-a 貴社の“来月”の主食用米の“価格”について、“今月と比較”してどうなると考えていますか。



②-イ-b 貴社の“来月”の主食用米の“価格”について、“前年同月と比較”してどうなると考えていますか。



③主食用米の在庫量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「多くなった」/「(将来) 多くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「少なくなった」/「(将来) 少なくなる」という見方が前月より強くなった傾向を示す。

(ア) 今月の在庫量に関する現状判断 D I

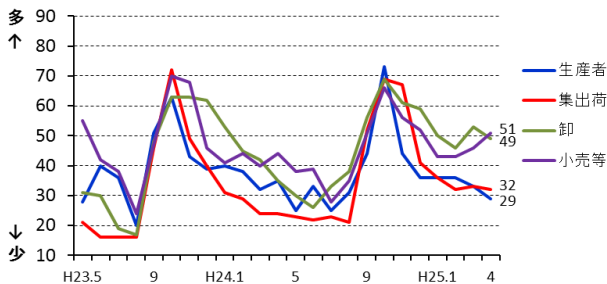
a. 先月との比較

生産者：前月からの増減	- 4	(今月の数値	29)
集出荷：前月からの増減	- 1	(今月の数値	32)
卸：前月からの増減	- 4	(今月の数値	49)
小売等：前月からの増減	+ 5	(今月の数値	51)

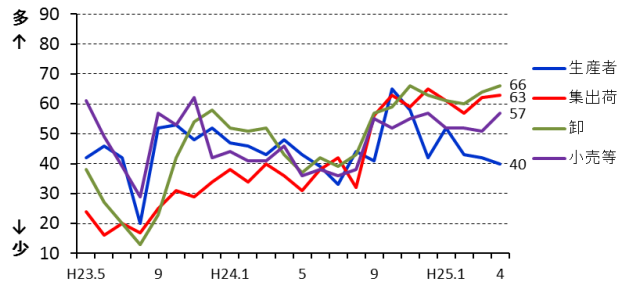
b. 前年同月との比較

生産者：前月からの増減	- 2	(今月の数値	40)
集出荷：前月からの増減	+ 1	(今月の数値	63)
卸：前月からの増減	+ 2	(今月の数値	66)
小売等：前月からの増減	+ 6	(今月の数値	57)

③-ア-a 貴社の“今月”の主食用米の“在庫量”について、“先月と比較”するといかがですか。



③-ア-b 貴社の“今月”の主食用米の“在庫量”は、“前年同月と比較”するといかがですか。



(イ) 来月の在庫量に関する見通し D I

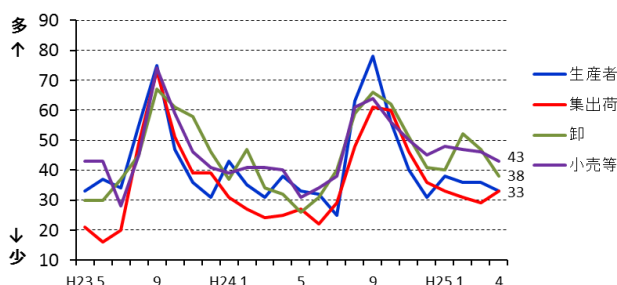
a. 今月との比較

生産者：前月からの増減	- 3	(今月の数値	33)
集出荷：前月からの増減	+ 4	(今月の数値	33)
卸：前月からの増減	- 9	(今月の数値	38)
小売等：前月からの増減	- 3	(今月の数値	43)

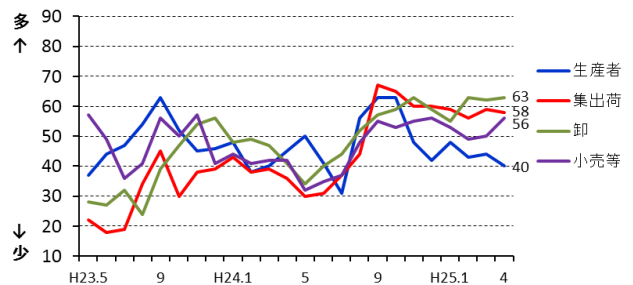
b. 前年同月との比較

生産者：前月からの増減	- 4	(今月の数値	40)
集出荷：前月からの増減	- 1	(今月の数値	58)
卸：前月からの増減	+ 1	(今月の数値	63)
小売等：前月からの増減	+ 6	(今月の数値	56)

③-イ-a 貴社の“来月”の主食用米の“在庫量”について、“今月と比較”してどうなると考えていますか。



③-イ-b 貴社の“来月”の主食用米の“在庫量”について、“前年同月と比較”してどうなると考えていますか。



《アンケート方法等》

○調査期間：毎月1日から25日までの取引状況を踏まえて回答

○調査方法：電子メールを利用したアンケート調査

○調査対象者：全国の生産者、集出荷業者、卸・小売業者等の154客体

○有効回答数：129客体

生産者・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
 集出荷業者／団体・・・・・・・・・・・・31
 卸売業者（主に主食用米）・・・・31
 小売業者／中食・外食関係業者・・36
 その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・19

※「その他」は以下の業者を示している。
 ・米穀の販売の事業を行う者のうち、主に加工原材料の卸売の事業を行う者
 ・加工原材料米穀を使用し、加工食品（酒類を含む）を製造・販売する者

《利用上の注意》

○表示単位未満の端数は四捨五入したため、合計と内訳は一致しないことがある。

《DIの算出方法》

米の需給動向・価格水準などに関する現状、または先行きに対する5段階の判断（評価）にそれぞれ点数（評価点）を与え、これらを各回答区分の構成比（%）に乗じてDIを算出。

ただし、DIの推移は、変化の方向性を示すものであり、その変化の大きさ（量感）を表すものではない。例えば、大幅であろうが小幅であろうが、上昇するといった見方をする者の構成比が同じであれば、同じDIが算出されることに注意が必要である。

（DIの算出例）

問：国内の主食用米の“向こう3ヶ月の米価水準”について、“現時点と比較”してどうなると考えていますか。

	高くなる	やや高くなる	同程度	やや低くなる	低くなる
評価点(A)	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0
構成比(B)	17.8	20.0	20.0	22.2	20.0
各DI(C=A×B)	17.8	15	10	5.6	0
DI(合計)	48.4				

Ⅱ 集出荷・卸段階の動向

(1) 相対取引価格・数量

① 相対取引価格(平成24年産米の主な産地銘柄別、平成25年3月)(速報)

(単位:円/玄米60kg)

産地	品種銘柄 (地域区分)	25年3月 ①	【参考】			
			25年2月 ②	対前月比 ①/②	24年3月 (23年産) ③	対前年 同期比 ①/③
北海道	北海道 きらら397	15,713	15,684	(100%)	14,322	(110%)
	北海道 ななつぼし	15,378	15,672	(98%)	14,368	(107%)
東北	青森 つがるロマン	15,663	15,456	(101%)	13,613	(115%)
	青森 まっしぐら	15,446	15,129	(102%)	13,593	(114%)
	岩手 ひとめぼれ	—	15,840	—	14,369	—
	岩手 あきたこまち	—	15,949	—	—	—
	宮城 ひとめぼれ	16,230	16,272	(100%)	14,540	(112%)
	宮城 ササニシキ	—	16,471	—	—	—
	秋田 あきたこまち	16,717	16,945	(99%)	15,165	(110%)
	山形 はえぬき	16,020	16,260	(99%)	14,539	(110%)
	福島 コシヒカリ 会津	16,647	17,081	(97%)	15,980	(104%)
	福島 コシヒカリ 中通り	15,913	15,914	(100%)	13,874	(115%)
福島 コシヒカリ 浜通り	—	—	—	13,923	—	
福島 ひとめぼれ	15,490	15,519	(100%)	13,772	(112%)	
関東・東山	茨城 コシヒカリ	16,852	16,654	(101%)	15,848	(106%)
	栃木 コシヒカリ	16,677	16,712	(100%)	15,490	(108%)
	埼玉 彩のかがやき	—	—	—	14,128	—
	千葉 コシヒカリ	16,728	16,925	(99%)	—	—
	長野 コシヒカリ	17,012	16,897	(101%)	16,019	(106%)
北陸	新潟 コシヒカリ 一般	18,407	18,325	(100%)	18,779	(98%)
	新潟 コシヒカリ 魚沼	23,908	23,704	(101%)	23,931	(100%)
	新潟 コシヒカリ 佐渡	18,751	18,703	(100%)	19,477	(96%)
	新潟 コシヒカリ 岩船	18,926	18,713	(101%)	19,511	(97%)
	富山 コシヒカリ	17,050	17,048	(100%)	16,222	(105%)
	石川 コシヒカリ	16,986	16,921	(100%)	16,268	(104%)
	福井 コシヒカリ	17,091	17,084	(100%)	16,011	(107%)
福井 ハナエチゼン	15,818	—	—	14,645	(108%)	
東海・近畿	三重 コシヒカリ 一般	17,056	16,989	(100%)	—	—
	滋賀 コシヒカリ	—	17,178	—	15,878	—
	滋賀 キヌヒカリ	—	15,902	—	15,258	—
	兵庫 コシヒカリ	17,034	17,229	(99%)	15,864	(107%)
中国・四国	鳥取 コシヒカリ	—	17,047	—	15,917	—
	島根 コシヒカリ	17,111	16,981	(101%)	15,912	(108%)
	広島 コシヒカリ	16,001	15,994	(100%)	15,105	(106%)
	山口 コシヒカリ	17,072	16,858	(101%)	—	—
	徳島 コシヒカリ	—	17,277	—	—	—
	香川 ヒノヒカリ	15,936	15,908	(100%)	14,662	(109%)
	高知 コシヒカリ	—	18,012	—	—	—
九州	福岡 ヒノヒカリ	16,315	16,216	(101%)	15,092	(108%)
	佐賀 夢しずく	—	—	—	—	—
	熊本 ヒノヒカリ	16,683	—	—	15,057	(111%)
	大分 ヒノヒカリ	16,474	16,492	(100%)	15,322	(108%)
	宮崎 コシヒカリ	—	—	—	—	—
鹿児島 ヒノヒカリ	—	—	—	—	—	
全銘柄平均価格		16,534	16,534	(100%)	15,303	(108%)

資料:農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1: 相対取引価格は、ア 全国出荷団体、イ 年間の玄米仕入数量が5,000トン以上の道県出荷団体等、ウ 年間の直接販売数量が5,000トン以上の出荷業者と卸売業者等の主食用の相対取引契約(数量と価格が決定した時点を基準としている。)の価格(運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格。)であり、その契約数量を用いて加重平均した価格である。その際、新潟、長野、静岡以東(東日本)の産地銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西(西日本)の産地銘柄については受渡地を西日本としているものを加重平均している。

2: また、相対取引価格は、個々の契約数量に応じて設定される大口割引等の割引などが適用された価格であり、実際の引取状況に応じて等級及び付加価値等(栽培方法等)の価格調整が行われることがある。

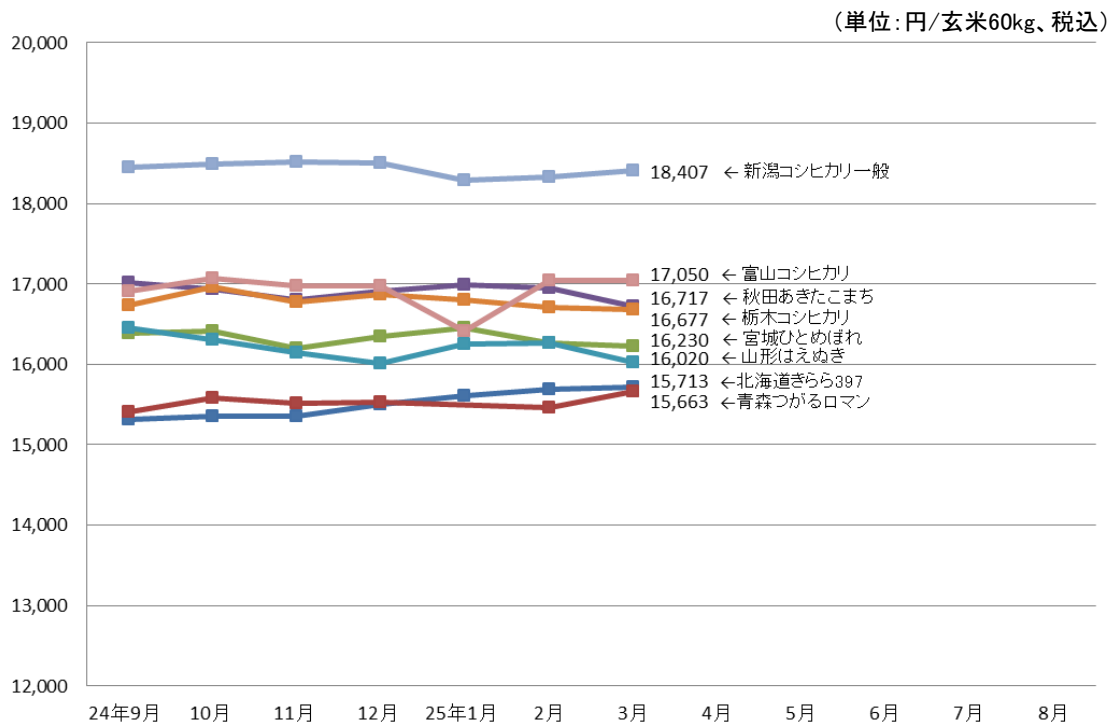
3: 産地銘柄は、報告対象産地銘柄のうち、23年産の農産物検査受検数量原則15,000トン以上のものであり、月1,000トン以上の取引があったものである。

4: 全銘柄平均価格は、報告対象産地銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均した価格である。

5: 24年3月は23年産の価格である。

6: 24年産については速報値である。

② 相対取引価格の推移（主な産地銘柄別、平成24年産米）

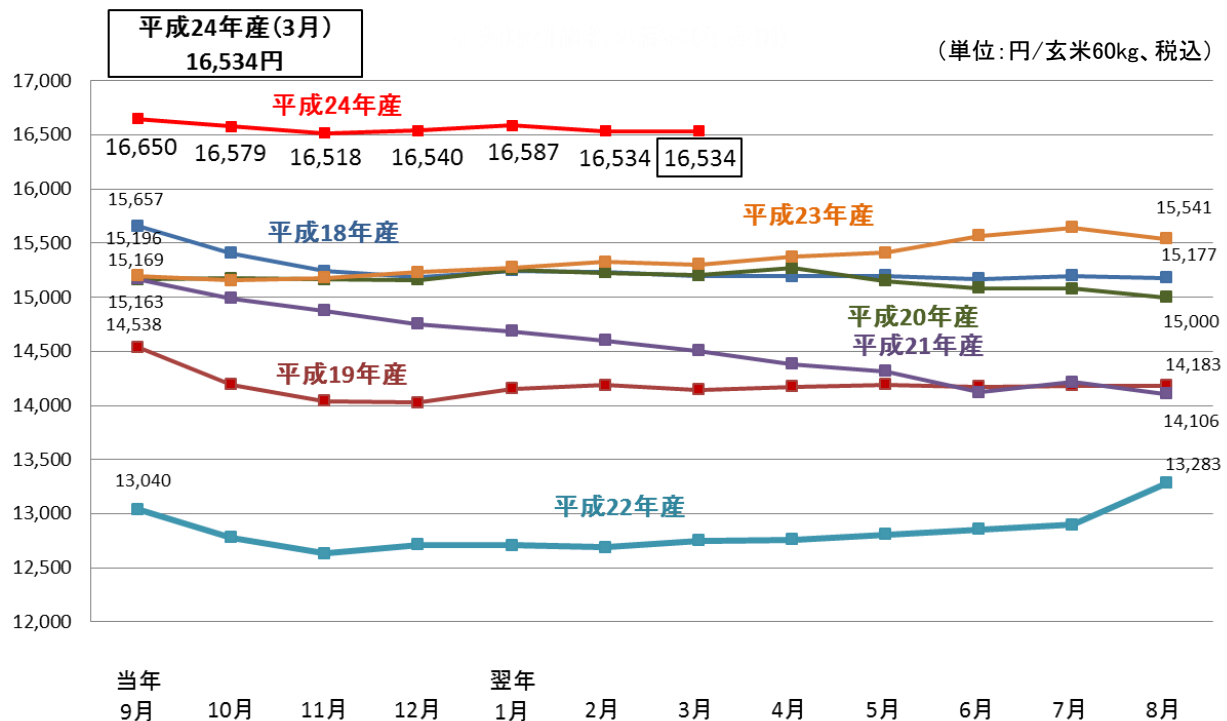


資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：相対取引価格に関する留意点については、6ページの注を参照。

注2：月間の取引量が1,000トン未満となった産地銘柄については、当該月の価格は上表に掲載していない。

③ 相対取引価格（年産別）



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：相対取引価格に関する留意点については、6ページの注を参照。

④ 相対取引数量

(累積数量、平成24年産米の主な産地銘柄別、平成25年3月)(速報)

(単位：玄米トン)

産地	品種銘柄 (地域区分)	24年産 (25年3月まで)	(前年比)	(前々年比)	23年産 (24年3月まで)	22年産 (23年3月まで)
		①	①/②	①/③	②	③
北海道	北海道 きらら397	109,173	(99%)	(111%)	110,360	98,039
	北海道 ななつぼし	166,590	(114%)	(160%)	146,469	104,068
東北	青森 つがるロマン	31,104	(81%)	(86%)	38,274	36,160
	青森 まっしぐら	69,501	(113%)	(228%)	61,559	30,431
	岩手 ひとめぼれ	102,482	(92%)	(111%)	111,116	92,285
	岩手 あきたこまち	25,704	(100%)	(104%)	25,756	24,662
	宮城 ひとめぼれ	162,082	(121%)	(132%)	134,368	122,584
	宮城 ササニシキ	12,331	(107%)	(108%)	11,515	11,470
	秋田 あきたこまち	152,104	(93%)	(84%)	162,813	182,153
	山形 はえぬき	94,101	(86%)	(99%)	109,989	95,110
	福島 コシヒカリ 会津	27,916	(91%)	(79%)	30,656	35,350
	福島 コシヒカリ 中通り	28,712	(151%)	(95%)	19,004	30,323
	福島 コシヒカリ 浜通り	1,025	(24%)	(6%)	4,311	16,110
	福島 ひとめぼれ	22,745	(97%)	(54%)	23,445	42,141
関東・東山	茨城 コシヒカリ	53,404	(110%)	(114%)	48,550	47,039
	栃木 コシヒカリ	110,844	(112%)	(107%)	98,879	103,648
	埼玉 彩のかがやき	7,636	(67%)	(329%)	11,367	2,324
	千葉 コシヒカリ	46,359	(132%)	(107%)	35,254	43,171
	長野 コシヒカリ	51,677	(108%)	(90%)	47,846	57,328
北陸	新潟 コシヒカリ 一般	87,411	(71%)	(67%)	122,987	130,462
	新潟 コシヒカリ 魚沼	18,883	(74%)	(103%)	25,674	18,385
	新潟 コシヒカリ 佐渡	11,514	(67%)	(73%)	17,277	15,836
	新潟 コシヒカリ 岩船	9,703	(71%)	(74%)	13,703	13,184
	富山 コシヒカリ	84,132	(92%)	(91%)	91,475	92,542
	石川 コシヒカリ	19,791	(90%)	(70%)	21,904	28,221
	福井 コシヒカリ	30,148	(121%)	(116%)	24,883	25,907
	福井 ハナエチゼン	19,449	(162%)	(87%)	12,016	22,363
東海・近畿	三重 コシヒカリ 一般	17,513	(121%)	(106%)	14,518	16,494
	滋賀 コシヒカリ	26,575	(124%)	(101%)	21,356	26,285
	滋賀 キヌヒカリ	17,510	(172%)	(136%)	10,177	12,888
	兵庫 コシヒカリ	13,125	(107%)	(91%)	12,298	14,402
中国・四国	鳥取 コシヒカリ	6,332	(104%)	(68%)	6,077	9,282
	島根 コシヒカリ	22,781	(131%)	(115%)	17,324	19,795
	広島 コシヒカリ	14,176	(115%)	(92%)	12,331	15,475
	山口 コシヒカリ	12,644	(92%)	(92%)	13,732	13,805
	徳島 コシヒカリ	10,160	(105%)	(97%)	9,717	10,493
	香川 ヒノヒカリ	7,400	(104%)	(90%)	7,141	8,255
高知 コシヒカリ	5,491	(111%)	(103%)	4,928	5,318	
九州	福岡 ヒノヒカリ	17,192	(94%)	(111%)	18,237	15,532
	佐賀 夢しずく	6,822	(64%)	(83%)	10,632	8,247
	熊本 ヒノヒカリ	5,648	(84%)	(136%)	6,693	4,139
	大分 ヒノヒカリ	10,681	(146%)	(117%)	7,308	9,130
	宮崎 コシヒカリ	8,152	(132%)	(107%)	6,179	7,597
	鹿児島 ヒノヒカリ	3,036	(75%)	(163%)	4,051	1,864
全銘柄合計契約数量		2,194,981	(99%)	(103%)	2,211,736	2,133,645

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：相対取引数量は、ア 全国団体、イ 年間の玄米仕入数量が5,000トン以上の道県出荷団体等、ウ 年間の直接販売数量が5,000トン以上の出荷業者が、卸売業者等と主食用の相対取引契約(数量と価格が決定した時点を基準としている。)を行った数量である。
 なお、新潟、長野、静岡(東(東日本)の産地銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西(西日本の産地銘柄については受渡地を西日本としているものを対象としている。

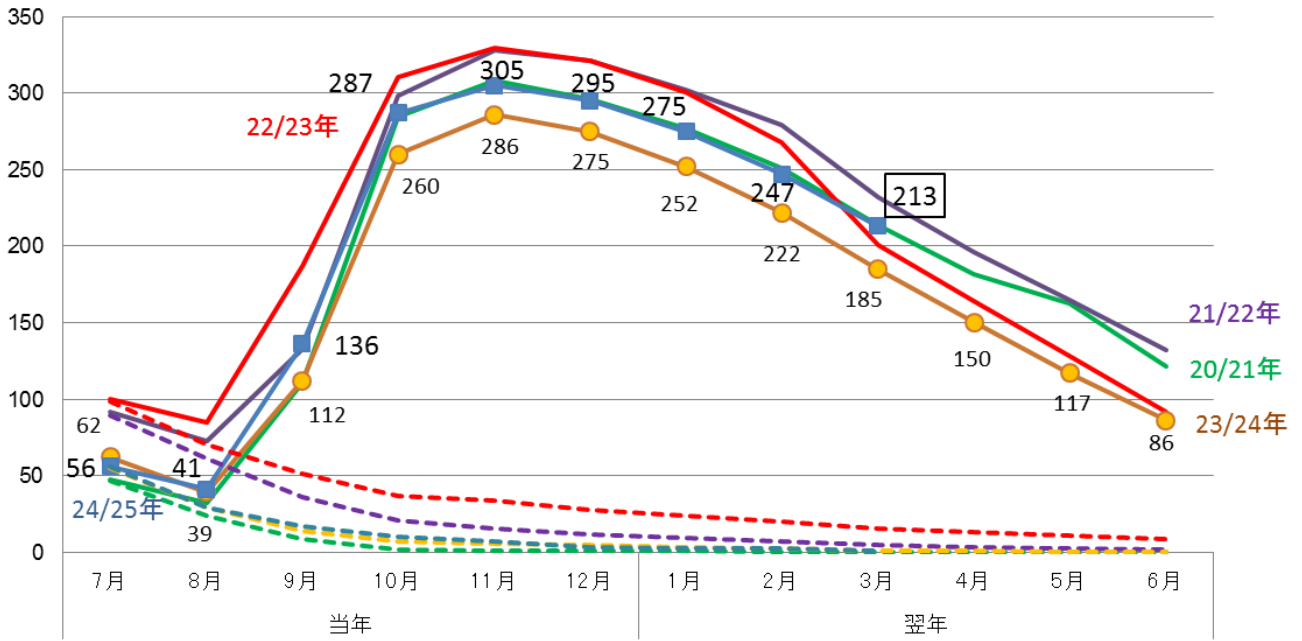
2：産地銘柄は、報告対象産地銘柄のうち、23年産の農産物検査受検数量原則15,000トン以上のもの。

3：全銘柄合計契約数量は、農林水産省が公表している相対取引価格の報告対象銘柄の契約数量の合計。

(2) 民間在庫の推移

① 出荷段階

単位: 万トン



注: グラフ中の実線は総在庫数量。破線は1年古米在庫数量である。

【出荷段階】

(単位: 万トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
20/21年	47	32	111	285	308	296	277	251	214	182	163	121
1年古米	46	23	9	1	1	1	0	0	0	0	0	0
新米	1	8	101	281	305	293	275	249	212	181	162	121
21/22年	91	73	133	299	328	321	303	279	232	197	165	132
対前年差	+44	+41	+22	+14	+20	+25	+26	+28	+18	+15	+2	+11
1年古米	90	61	36	21	15	11	9	7	5	3	2	2
新米	1	11	96	275	309	308	291	271	225	191	162	130
22/23年	100	85	187	311	329	321	301	268	201	164	128	92
対前年差	+9	+12	+54	+12	+1	▲0	▲1	▲11	▲31	▲32	▲37	▲40
1年古米	99	70	51	37	34	28	23	20	16	13	11	8
新米	0	13	134	271	294	291	276	247	184	151	117	82
23/24年	62	39	112	260	286	275	252	222	185	150	117	86
対前年差	▲38	▲46	▲75	▲50	▲43	▲45	▲49	▲46	▲16	▲15	▲11	▲6
1年古米	55	29	14	7	6	4	3	2	1	1	0	0
新米	0	5	94	249	276	266	245	217	182	148	116	85
24/25年	56	41	136	287	305	295	275	247	213			
対前年差	▲6	+2	+24	+26	+19	+20	+23	+25	+28			
1年古米	55	29	17	10	7	3	2	2	1			
新米	0	12	118	274	296	290	271	243	210			

資料: 農林水産省「米麦の出荷又は販売の事業を行う者等の流通状況調査」(~20年7月)

農林水産省「米穀の取引に関する報告徴収」(20年8月~)

注1: 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米の月末在庫量(玄米換算)の値である。

2: 米穀の出荷の事業を行う者であって、年間の玄米取扱数量が500トン以上の者の値である。

3: 期間については、23/24年であれば、23年7月~24年6月である。

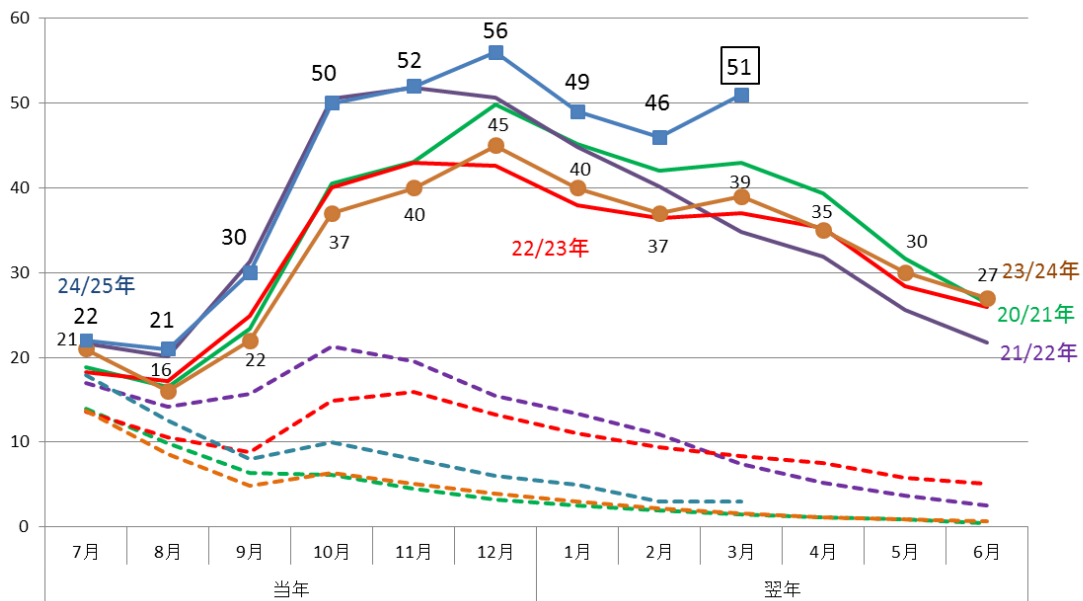
4: 22/23年7月末以降は、速報値である。

5: 23年3月以降の値は、東日本大震災の影響により一部見込みが含まれている。

6: ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

② 販売段階

単位: 万トン



注: グラフ中の実線は総在庫数量。破線は1年古米在庫数量である。

【販売段階】

(単位: 万トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
20/21年	19	17	23	41	43	50	45	42	43	39	32	26
1年古米	14	10	6	6	5	3	3	2	1	1	1	0
新米	0	3	12	26	28	36	34	32	34	32	26	21
21/22年	22	20	31	51	52	51	45	40	35	32	26	22
対前年差	+3	+4	+8	+10	+9	+1	▲0	▲2	▲8	▲7	▲6	▲5
1年古米	17	14	16	21	20	15	13	11	7	5	4	3
新米	0	3	11	22	24	27	24	23	22	22	18	16
22/23年	18	17	25	40	43	43	38	36	37	35	28	26
対前年差	▲3	▲3	▲6	▲11	▲9	▲8	▲7	▲4	+2	+3	+3	+4
1年古米	14	11	9	15	16	13	11	9	8	8	6	5
新米	0	3	12	19	21	23	21	22	24	23	19	17
23/24年	21	16	22	37	40	45	40	37	39	35	30	27
対前年差	+2	▲1	▲3	▲3	▲3	+2	+2	+1	+2	+0	+2	+1
1年古米	14	9	5	6	5	4	3	2	2	1	1	1
新米	0	3	13	24	28	34	30	29	32	30	25	23
24/25年	22	21	30	50	52	56	49	46	51			
対前年差	+1	+5	+8	+13	+12	+11	+9	+9	+12			
1年古米	18	13	8	10	8	6	5	3	3			
新米	0	4	17	32	35	41	37	36	42			

資料: 農林水産省「米麦の出荷又は販売の事業を行う者等の流通状況調査」(~20年7月)

農林水産省「米穀の取引に関する報告」(20年8月~)

注1: 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米の月末在庫量(玄米換算)の値である。

2: 米穀の販売の事業を行う者であって、年間の玄米取扱数量が4,000トン以上の者の値である。

3: 期間については、23/24年であれば、23年7月~24年6月である。

4: 22/23年7月以降の値は、速報値である。

5: 23年3月以降の値は、東日本大震災の影響により一部見込みが含まれている。

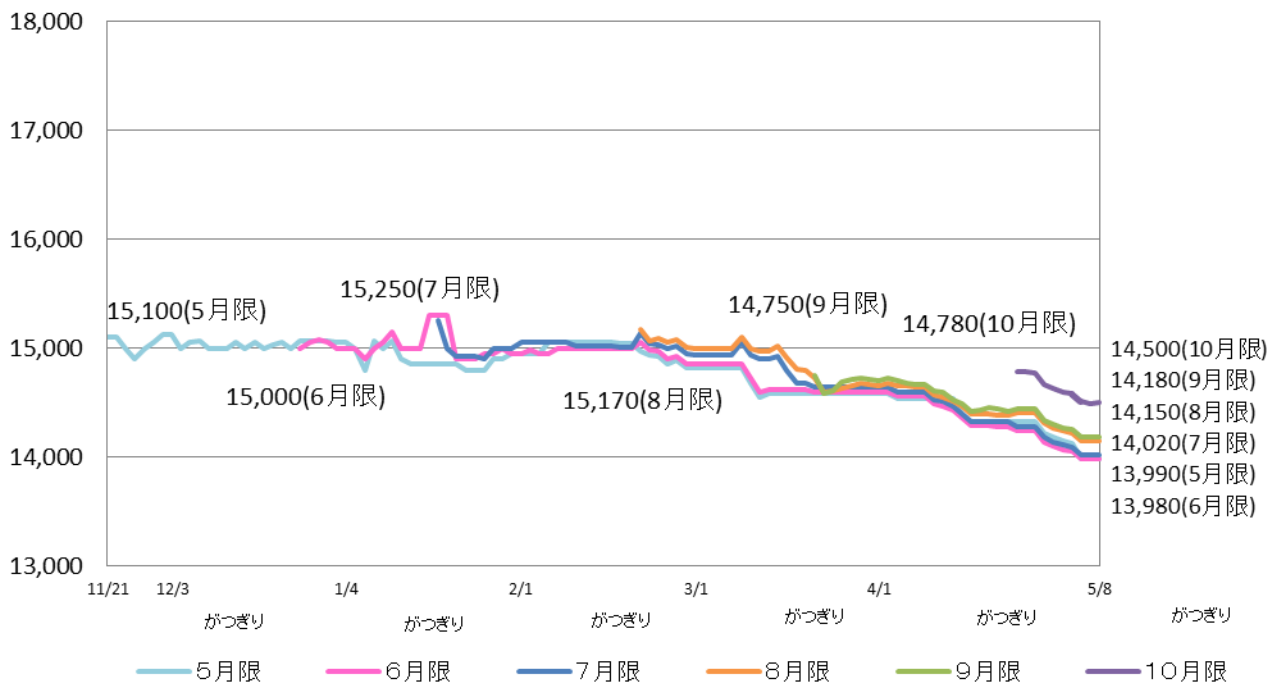
6: ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

(3) 米の先物取引価格の推移

①東京コメ

円/60Kg

※10月限より新穀(平成25年産)



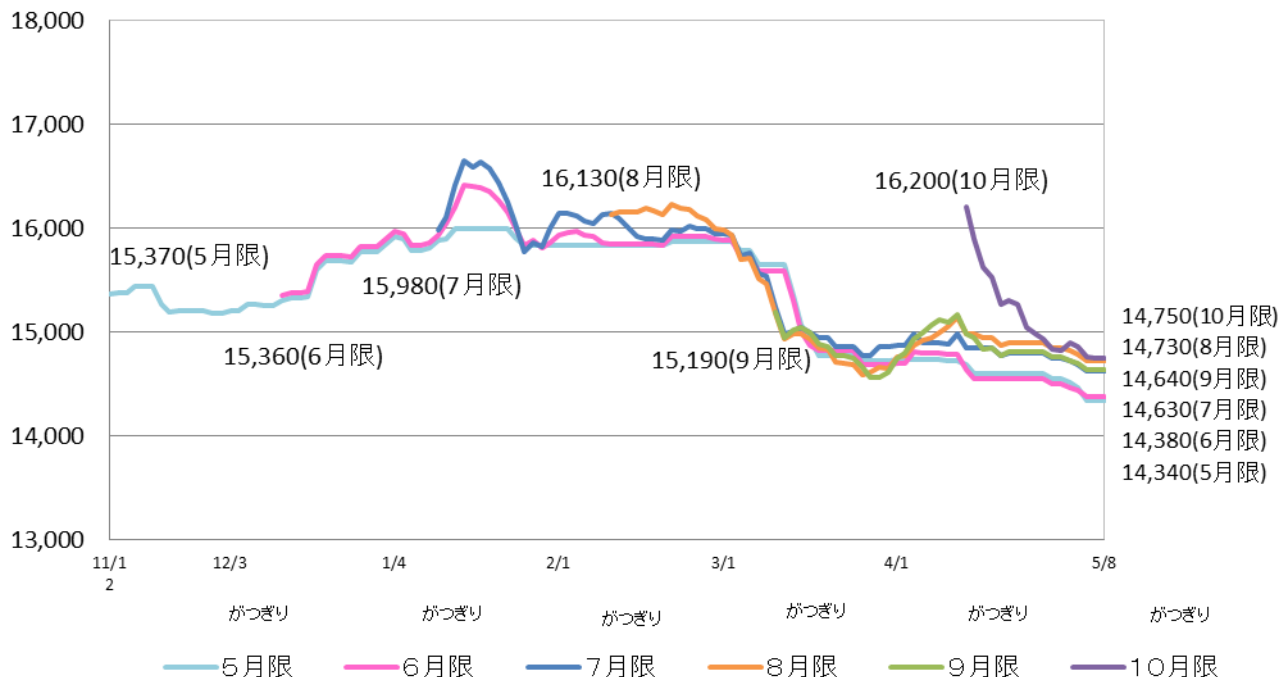
出典:大阪堂島商品取引所(平成25年2月8日以前は東京穀物商品取引所)

注:取引開始から5月8日後場第3節までの価格の推移である。

②大阪コメ

円/60Kg

※10月限より新穀(平成25年産)



出典:大阪堂島商品取引所(平成25年2月8日以前は関西商品取引所)

注:取引開始から5月8日後場第3節までの価格の推移である。

(4) 業者間取引の状況

① 日本コメ市場（随時取引の結果）

○ 価格は、主にスポット取引の価格であり、相当期間にわたり安定的に行う取引の価格とは性格を異にするので利用に当たっては注意が必要。

関東到着基準、1等、包装代込、税抜き、円/60kg

年産・産地銘柄	9月下旬	10月上旬	10月下旬	11月上旬	11月下旬	12月上旬	12月下旬	1月上旬	1月下旬	2月上旬	2月下旬	4月上旬	4月下旬
24年産 北海道きらら397	-	-	-	-	-	-	-	16,250	-	-	-	-	-
24年産 青森つがるロマン	-	15,116	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24年産 秋田あきたこまち	16,331	16,309	15,976	16,119	16,113	16,233	-	-	16,209	16,260	-	15,375	14,989
24年産 宮城ひとめぼれ	-	-	16,045	15,800	-	16,285	-	16,101	16,065	16,210	-	-	-
24年産 福島中通りコシヒカリ	-	-	-	-	15,506	-	-	15,600	15,402	-	-	-	-
24年産 茨城コシヒカリ	15,847	-	-	16,060	-	-	15,900	-	-	-	-	-	-
24年産 栃木コシヒカリ	-	15,863	-	-	15,800	-	-	-	-	-	-	15,850	-
24年産 新潟一般コシヒカリ	-	-	17,108	-	17,395	-	-	-	-	-	-	16,860	-

出典：日本コメ市場株式会社HP

注1：随時取引とは、取引日を限定せずに、ファックス、電話、IT等によって行う取引である。

2：上記価格は、日本コメ市場(株)の取引における成約価格を取引数量により加重平均したものである。

3：上期は、1日から15日まで、下期は、16日から月末までを示す。

4：「-」に関しては、成約数量が日本コメ市場の内部規程で定める基準を満たさなかったため非公表。

② 日本コメ市場・クリスタルライス（取引会の結果）

（主たる銘柄の成約状況）

関東到着基準、1等、包装代込、税抜き、円/60kg、トン

年産・産地銘柄	平成24年度																平成25年度	
	第1回 平成24年5月10日		第2回 7月19日		第3回 8月23日		第4回 9月13日		第5回 10月18日		第6回 12月6日		第7回 平成25年1月17日		第8回 2月28日		第1回 4月25日	
	成約価格	成約数量	成約価格	成約数量	成約価格	成約数量	成約価格	成約数量	成約価格	成約数量	成約価格	成約数量	成約価格	成約数量	成約価格	成約数量	成約価格	成約数量
23年産 宮城ひとめぼれ	-	-	18,793	33	18,206	26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23年産 秋田あきたこまち	18,949	91	18,810	43	18,200	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23年産 山形はえぬき	18,640	48	-	-	17,842	61	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23年産 福島会津コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	15,500	48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23年産 茨城コシヒカリ	18,189	78	16,930	79	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23年産 栃木コシヒカリ	-	-	17,400	44	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23年産 千葉コシヒカリ	18,225	67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23年産 新潟一般コシヒカリ	19,083	133	17,781	47	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24年産 北海道ななつぼし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16,327	35	-	-	-
24年産 青森まっしぐら	-	-	-	-	-	-	-	-	15,271	23	15,600	48	-	-	15,550	24	-	-
24年産 宮城ひとめぼれ	-	-	-	-	-	-	-	-	15,854	157	-	-	-	-	15,900	22	-	-
24年産 秋田あきたこまち	-	-	-	-	-	-	16,334	122	15,964	52	16,160	30	16,194	42	16,000	12	14,971	46
24年産 福島中通りコシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15,438	102	-	-	-	-
24年産 福島あきたこまち	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15,525	96	-	-	-	-	-	-
24年産 福島ひとめぼれ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14,750	24
24年産 福島チヨコシキ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14,350	28
24年産 茨城コシヒカリ	-	-	-	-	-	15,510	60	15,667	52	15,575	41	16,036	48	-	-	14,898	38	-
24年産 茨城あきたこまち	-	-	-	-	15,900	36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24年産 栃木コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15,833	18	-	-
24年産 千葉ふさおとめ	-	-	-	-	15,969	48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24年産 新潟一般コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	17,100	12	-	-	17,210	29	17,050	13	16,557	84
24年産 富山コシヒカリ	-	-	-	-	-	16,754	53	-	-	16,970	48	-	-	-	-	-	-	-
成約米穀の平均価格(加重平均)	17,829	1,278	17,264	505	16,611	463	16,307	473	15,667	676	16,076	713	15,981	743	15,869	436	15,446	362

出典：日本コメ市場株式会社のHP

注1：取引会における取引は、原則毎月、東京、大阪及び福岡において開催される取引会において入札により行われるものである。

2：価格は、取引における成約価格を取引数量により加重平均したものである。

3：「-」は、同社のホームページにおいて非公表を示す。

(5) (株) 加工用米取引センターの取引結果

(単位: 成約数量・トン、成約価格・円/60kg)

取引日	産地、銘柄	等級	成約数量	成約価格	取引日	産地、銘柄	等級	成約数量	成約価格
平成24年9月3日	千葉ふさおとめ(主食用)	1等	39.6	15,800	11月20日	富山コシヒカリ(主食用)	1等	85.92	16,700
9月3日	千葉ふさおとめ(主食用)	1等	39.6	15,700	11月21日	新潟コシヒカリ(主食用)	1等	12	17,600
9月6日	三重コシヒカリ(主食用)	1等	13.2	16,500	11月21日	新潟コシヒカリ(魚沼)(主食用)	1等	10.8	23,150
9月14日	富山コシヒカリ(主食用)	1等	10.8	17,050	11月22日	千葉ふさこがね(主食用)	1等	72	15,400
9月24日	福井ハナエチゼン(主食用)	1等	12.6	16,250	11月22日	山形はえぬき(主食用)	1等	25.92	15,600
9月25日	秋田あきたこまち(主食用)	1等	10.8	16,450	11月29日	香川コシヒカリ(主食用)	2等	12.96	16,450
9月25日	新潟コシヒカリ(岩船)(主食用)	1等	12.24	18,200	12月10日	熊本ヒヨクモチ(主食用)	2等	10.8	12,950
9月25日	新潟コシヒカリ(佐渡)(主食用)	1等	12.24	18,200	12月13日	岩手あきたこまち(主食用)	1等	24	16,000
9月26日	北海道きさら397(主食用)(フレコン)	1等	21.42	15,350	12月17日	新潟コシヒカリ(佐渡)(主食用)	1等	5.4	18,550
9月26日	北海道きさら397(主食用)	1等	10.2	15,670	平成25年1月17日	富山コシヒカリ(主食用)	1等	10.8	17,000
9月28日	山形はえぬき(主食用)	1等	12.96	15,600	1月18日	岩手あきたこまち(主食用)	1等	12	16,000
9月28日	新潟コシヒカリ(佐渡)(主食用)	1等	10.8	18,450	1月24日	富山コシヒカリ(主食用)	1等	10.8	17,000
9月28日	新潟コシヒカリ(魚沼)(主食用)	1等	10.8	23,150	1月24日	新潟コシヒカリ(佐渡)(主食用)	1等	5.4	18,550
9月28日	新潟コシヒカリ(主食用)	1等	12	17,550	1月29日	富山コシヒカリ(主食用)	1等	60	16,810
10月1日	宮城ひとめぼれ(特裁米)(主食用)	1等	12.96	16,050	1月29日	富山コシヒカリ(主食用)	2等	60	16,210
10月1日	新潟コシヒカリ(佐渡)(主食用)	1等	12.24	18,350	2月12日	三重コシヒカリ(主食用)	1等	6.48	16,270
10月9日	山形はえぬき(主食用)	1等	12.96	15,600	2月12日	三重コシヒカリ(主食用)	2等	6.48	15,670
10月9日	新潟コシヒカリ(佐渡)(主食用)	1等	12.24	18,350	2月18日	三重コシヒカリ(主食用)	1等	30	16,200
10月11日	北海道きさら397(主食用)	1等	10.2	15,490	2月18日	三重コシヒカリ(主食用)	2等	30	15,600
10月12日	青森まっしぐら(主食用)	1等	32.4	15,520	2月18日	鳥取コシヒカリ(主食用)	2等	24	16,050
10月16日	北海道きさら397(主食用)	1等	102	15,490	2月26日	新潟コシヒカリ(主食用)	1等	5.4	17,650
10月23日	新潟コシヒカリ(主食用)	1等	5.4	17,450	2月26日	秋田ひとめぼれ(主食用)	1等	79.2	15,900
11月2日	山形はえぬき(主食用)	1等	12.96	15,600	3月12日	岩手あきたこまち(主食用)	1等	36	16,000
11月9日	佐賀ヒヨクモチ(主食用)	2等	13.2	14,050	4月19日	秋田あきたこまち(主食用)	1等	66	16,200
11月12日	熊本ヒヨクモチ(主食用)	2等	12	12,750	4月19日	秋田あきたこまち(主食用)	1等	52.8	16,150
11月15日	熊本ヒヨクモチ(主食用)	2等	12	12,650					

資料: (株)加工用米取引センターHP

注1: すべて玄米60kg当たりの価格(包装代込み、税抜き)。

注2: 商品形態は、玄米30kg紙袋である。ただし、売側・買側の合意があった場合には、フレコンも可とされている。

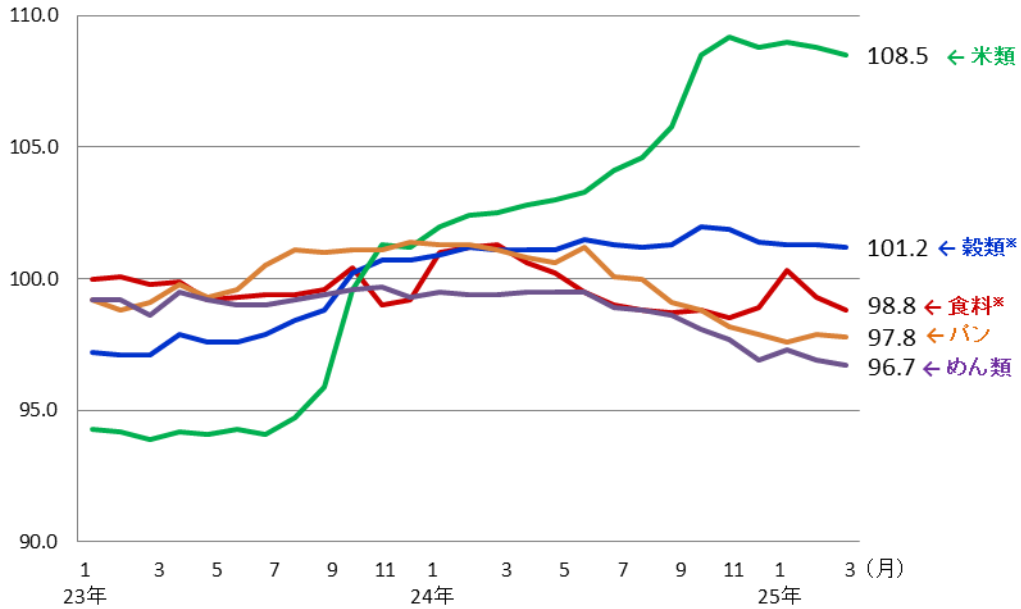
注3: 成約価格は、着地持込価格。

注4: すべて24年産米である。

Ⅲ 小売・消費段階の動向

(1) 消費者物価指数の推移

(図) 消費者物価指数の推移



- 注1: 図中の実線は、平成22年の平均価格を100とした数値となる。
- 注2: 図中の数値は、平成25年3月の消費者物価指数となる。
- 注3: 図中の食料とは穀類、魚介類、肉類等を、穀類とは米類、パン、めん類、他の穀類をいう。

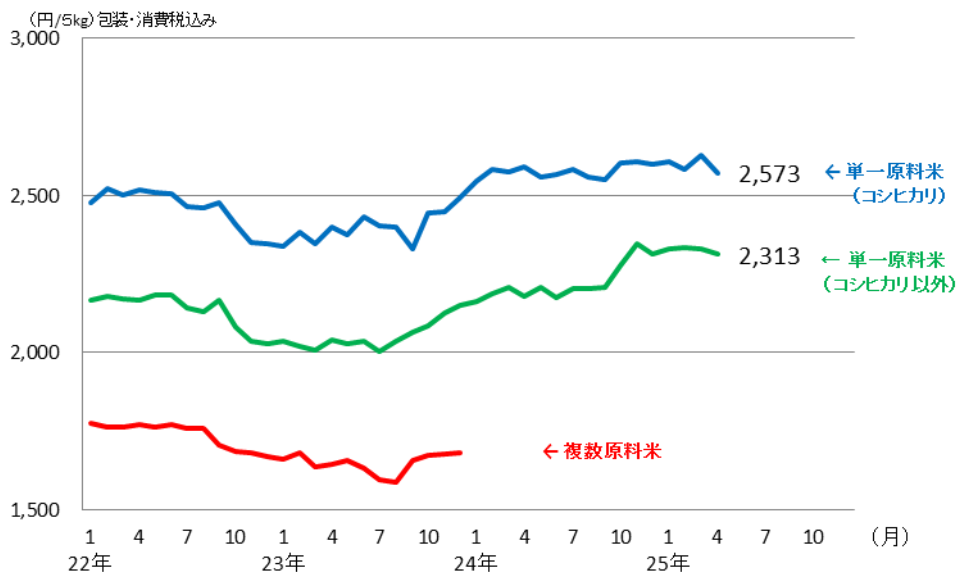
(表) 消費者物価指数の推移 (対前年同月比)

	食料		穀類		米類		うるち米	パン	めん類	
	対前年同月比	対前年同月比	対前年同月比	対前年同月比	対前年同月比	対前年同月比			対前年同月比	
平成17年	96.8	▲0.9%	98.5	▲6.6%	109.8	▲13.3%	109.8	▲12.9%	91.6	▲1.1%
平成18年	97.3	0.5%	96.8	▲1.7%	106.4	▲3.1%	106.5	▲3.0%	91.5	▲0.1%
平成19年	97.6	0.3%	96.4	▲0.4%	104.5	▲1.8%	104.7	▲1.7%	92.1	0.7%
平成20年	100.1	2.6%	102.6	6.4%	103.2	▲1.2%	103.4	▲1.2%	103.8	12.7%
平成21年	100.3	0.2%	103.3	0.7%	103.6	0.4%	103.6	0.2%	104.0	0.2%
平成22年	100.0	▲0.3%	100.0	▲3.2%	100.0	▲3.5%	100.0	▲3.5%	100.0	▲3.8%
平成23年	99.6	▲0.4%	98.4	▲1.6%	96.0	▲4.0%	95.9	▲4.1%	100.2	0.2%
平成24年	99.7	0.1%	101.3	2.9%	104.8	9.2%	105.1	9.6%	100.0	▲0.2%
平成24年1月	101.0	1.0%	100.9	3.8%	102.0	8.2%	102.3	8.5%	101.3	2.1%
2月	101.2	1.1%	101.2	4.2%	102.4	8.7%	102.7	9.3%	101.3	2.5%
3月	101.3	1.5%	101.1	4.1%	102.5	9.2%	102.8	9.6%	101.1	2.0%
4月	100.6	0.7%	101.1	3.3%	102.8	9.1%	103.0	9.5%	100.8	1.0%
5月	100.2	1.0%	101.1	3.6%	103.0	9.5%	103.2	9.9%	100.6	1.3%
6月	99.5	0.2%	101.5	4.0%	103.3	9.5%	103.6	10.1%	101.2	1.6%
7月	99.0	▲0.4%	101.3	3.5%	104.1	10.6%	104.4	11.1%	100.1	▲0.4%
8月	98.8	▲0.6%	101.2	2.8%	104.6	10.5%	104.9	10.9%	100.0	▲1.1%
9月	98.7	▲0.9%	101.3	2.5%	105.8	10.3%	106.3	11.0%	99.1	▲1.9%
10月	98.8	▲1.6%	102.0	1.8%	108.5	8.9%	109.0	9.3%	98.8	▲2.3%
11月	98.5	▲0.5%	101.9	1.2%	109.2	7.8%	109.7	8.1%	98.2	▲2.9%
12月	98.9	▲0.3%	101.4	0.7%	108.8	7.5%	109.5	7.9%	97.9	▲3.5%
平成25年1月	100.3	▲0.7%	101.3	0.4%	109.0	6.9%	109.6	7.1%	97.6	▲3.7%
2月	99.3	▲1.9%	101.3	0.1%	108.8	6.3%	109.3	6.4%	97.9	▲3.4%
3月	98.8	▲2.5%	101.2	0.1%	108.5	5.9%	109.1	6.1%	97.8	▲3.3%

- 資料: 総務省「消費者物価指数」(平成22年基準)
- 注1: 表中の数値は、平成22年の平均価格を100として指数化したものである。
- 注2: 食料は、穀類以外にも、魚介類、肉類等を含んでいる。
- 注3: 穀類は、米類(うるち米、もち米)、パン、めん類、他の穀類からなる。
- 注4: 平成17年から平成24年のデータは年平均、平成24年1月以降は月次データを用いている。

(2) 小売物価統計の推移

(図) 小売物価統計の推移



(表) 小売物価統計の推移

(単位: 円/5kg 包装・消費税込み)

	うるち米		
	単一原料米 (コシヒカリ)	単一原料米 (コシヒカリ以外)	複数原料米
平成17年	2,804	2,375	2,040
平成18年	2,744	2,341	1,996
平成19年	2,670	2,288	1,950
平成20年	2,610	2,270	1,832
平成21年	2,531	2,201	1,812
平成22年	2,462	2,136	1,739
平成23年	2,399	2,053	1,649
平成24年	2,577	2,223	-
平成24年1月	2,545	2,165	-
2月	2,585	2,188	-
3月	2,576	2,209	-
4月	2,592	2,178	-
5月	2,559	2,206	-
6月	2,568	2,177	-
7月	2,583	2,205	-
8月	2,557	2,202	-
9月	2,550	2,210	-
10月	2,604	2,276	-
11月	2,609	2,345	-
12月	2,600	2,315	-
平成25年1月	2,608	2,330	-
2月	2,585	2,336	-
3月	2,627	2,331	-
4月	2,573	2,313	-

資料：総務省「小売物価統計」

注1：東京都区部の数値である。

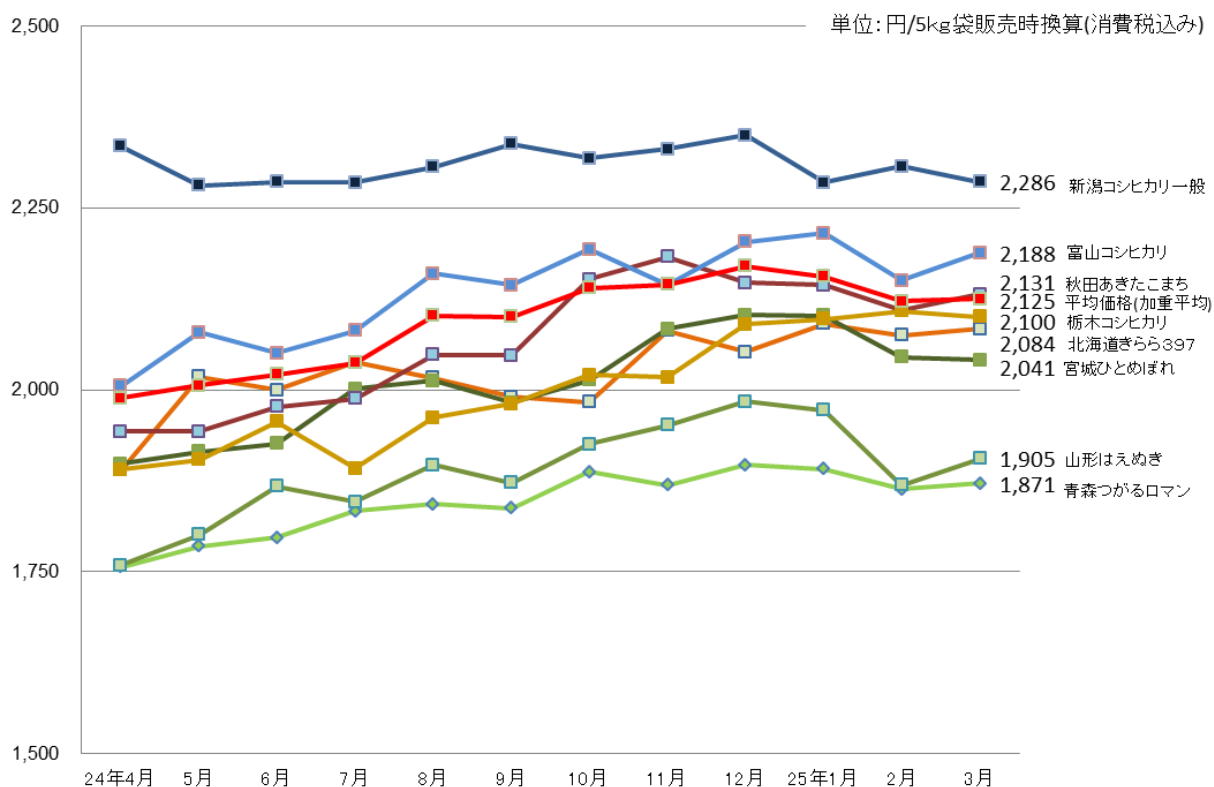
2：特売を除いた価格である。

3：精米ベースである。

4：複数原料米については、平成23年12月をもって調査が終了した。

(3) 小売価格の推移 (POSデータ)

(図) 小売価格の推移



(表) 小売価格の推移

単位: 円/5kg袋販売時換算(消費税込み)

	品種銘柄								
	北海道 きらら397	青森 つがるロマン	宮城 ひとめぼれ	秋田 あきたこまち	山形 はえぬぎ	栃木 コシヒカリ	新潟 コシヒカリ一般	富山 コシヒカリ	全POS取引 平均価格
24年4月	1,890	1,756	1,899	1,942	1,759	1,890	2,335	2,005	1,988
5月	2,018	1,785	1,915	1,942	1,801	1,904	2,281	2,079	2,006
6月	2,000	1,797	1,926	1,977	1,867	1,956	2,286	2,050	2,021
7月	2,038	1,833	2,001	1,988	1,846	1,892	2,285	2,081	2,037
8月	2,016	1,843	2,012	2,048	1,897	1,962	2,306	2,160	2,102
9月	1,990	1,837	1,982	2,047	1,872	1,981	2,338	2,144	2,100
10月	1,983	1,887	2,013	2,152	1,925	2,020	2,318	2,193	2,140
11月	2,081	1,869	2,084	2,183	1,951	2,017	2,331	2,145	2,145
12月	2,052	1,897	2,103	2,147	1,984	2,090	2,350	2,203	2,170
25年1月	2,091	1,891	2,102	2,144	1,972	2,097	2,285	2,215	2,156
2月	2,075	1,863	2,045	2,110	1,869	2,108	2,307	2,150	2,122
3月	2,084	1,871	2,041	2,131	1,905	2,100	2,286	2,188	2,125

資料: (株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

注1: (株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約850店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。

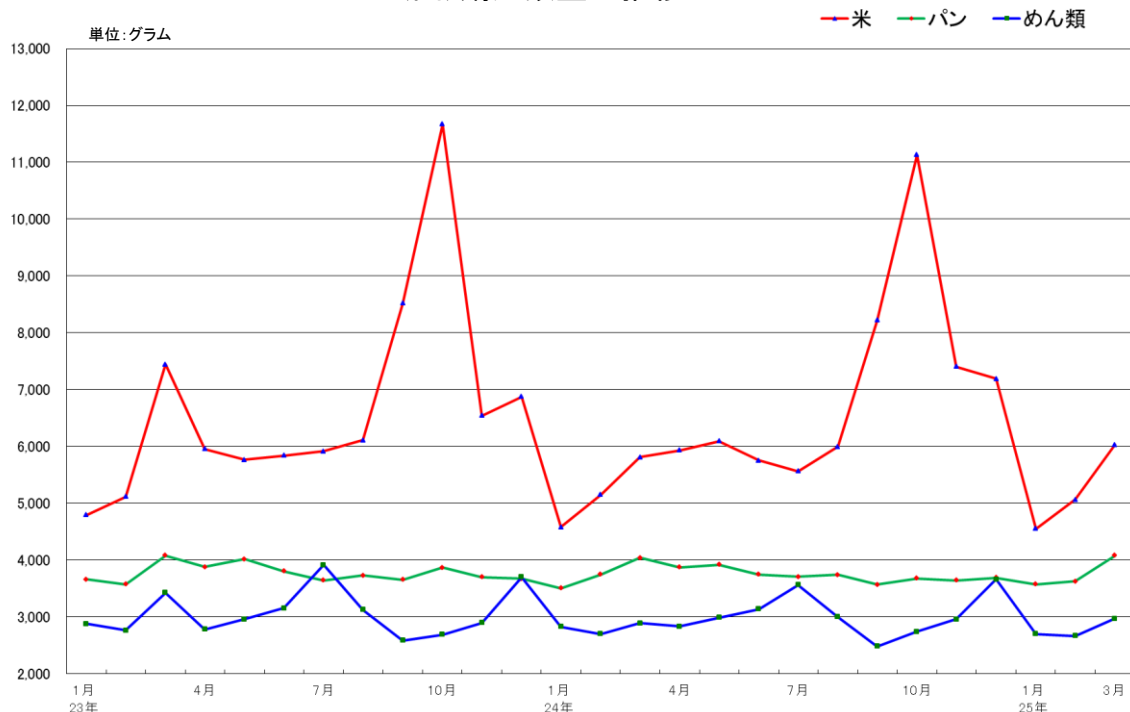
2: POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

3: POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

4: 平均価格は、POSデータで把握できる全ての精米の販売について5kg袋販売時に換算した上で加重平均を行った価格である。

(4) 購入数量の推移(家計調査)

(図)購入数量の推移



(表)購入数量の推移

(単位:グラム)

	米		パン		めん類	
	購入数量	対前年 同月比	購入数量	対前年 同月比	購入数量	対前年 同月比
平成20年	88,550	103.8%	44,445	98.2%	35,899	101.2%
平成21年	85,110	96.1%	45,599	102.6%	36,615	102.0%
平成22年	83,140	97.7%	45,493	99.8%	36,999	101.0%
平成23年	80,510	96.8%	45,254	99.5%	36,835	99.6%
平成24年	78,800	97.9%	44,820	99.0%	35,738	97.0%
平成23年1月	4,790	97.4%	3,656	99.5%	2,875	96.9%
2月	5,110	91.3%	3,573	102.6%	2,763	99.5%
3月	7,440	115.9%	4,076	99.0%	3,424	109.2%
4月	5,950	93.0%	3,878	97.2%	2,776	94.5%
5月	5,760	91.0%	4,015	101.5%	2,958	98.6%
6月	5,840	90.8%	3,804	100.4%	3,149	103.7%
7月	5,910	96.3%	3,640	94.5%	3,911	111.6%
8月	6,110	97.9%	3,724	103.1%	3,122	95.5%
9月	8,520	95.4%	3,653	99.7%	2,583	101.9%
10月	11,670	113.2%	3,866	97.2%	2,686	92.2%
11月	6,540	82.6%	3,700	100.0%	2,893	95.8%
12月	6,870	91.6%	3,669	99.7%	3,695	94.6%
平成24年1月	4,580	95.6%	3,505	95.9%	2,821	98.1%
2月	5,150	100.8%	3,744	104.8%	2,699	97.7%
3月	5,810	78.1%	4,035	99.0%	2,889	84.4%
4月	5,930	99.7%	3,870	99.8%	2,831	102.0%
5月	6,090	105.7%	3,917	97.6%	2,986	100.9%
6月	5,750	98.5%	3,741	98.3%	3,132	99.5%
7月	5,560	94.1%	3,704	101.8%	3,557	90.9%
8月	5,990	98.0%	3,736	100.3%	2,996	96.0%
9月	8,220	96.5%	3,566	97.6%	2,477	95.9%
10月	11,130	95.4%	3,676	95.1%	2,738	101.9%
11月	7,400	113.1%	3,640	98.4%	2,955	102.1%
12月	7,190	104.7%	3,686	100.5%	3,657	99.0%
平成25年1月	4,550	99.3%	3,572	101.9%	2,695	95.5%
2月	5,060	98.3%	3,625	96.8%	2,665	98.7%
3月	6,030	103.8%	4,076	101.0%	2,965	102.6%

資料: 総務省「家計調査」

注1: 二人以上の世帯の数値である。

2: 平成20年から平成24年については、年間の購入数量を示す。

3: 精米ベースである。